

事例 2： 経営改善計画策定支援事例

飲食業

- 品目を増やし売上を伸ばしたものの、利益につなげることができず資金繰りが苦しくなりました。
- 恒常的に運転資金が不足しており、借入金の資金繰り調整が煩雑で、支払利息の負担も過大でした。

経営改善計画の主な内容

- ✓ 経営戦略・営業戦略の見直し
- ✓ 高利益率品目の販売強化施策の実行
- ✓ 資金繰り管理の実施（税理士と連携）
- ✓ 計数・借入金返済計画

計画策定の効果

- ・人件費以外に新たなコスト削減の余地を見いだせました。
- ・売掛金・買掛金のズレの発生タイミングと原因がわかり、資金ショート懸念の解消に目処がつけました。

品目ごとの収益性を把握でき、適切な価格設定の方法が分かりました。

収益性が改善し、長期借入金の返済に目処がたちました。資金繰りの懸念も解消しました。

税理士に資金繰り管理を支援してもらい、本業に専念できたこともメリットです。

銀行とコミュニケーションが取れるようになり、金融支援につながっています。

